

フォーラムNo. Y9

テーマ名 リアルワールドでの空気質改善に対する自動車影響を考える

日時 2016年 5月 26日(木) 13:30～ 16:50

会場 アネックスホール F203

概要

近年、自動車業界は世界的に低排出ガス車を普及させ、大気改善に貢献してきた。しかし、PM2.5やオゾン等の大気環境基準は、未達が続いている。  
これらの大気環境改善のために、リアルワールドでの空気質改善というキーワードで、これまでの対応を見つめ直して課題を明確にしたうえで、将来に向けて何をすべきか、幅広い分野の技術者、研究者で考える必要がある。  
今回、自動車技術者、大気研究者を一堂に会して、リアルワールドに関するPM2.5やオゾンの状況、製造から自動車使用時、廃棄まで見渡した時の課題、Off-cycleエミッションの状況、自動車に密接に関係する燃料の情報から、自動車として何をすべきか、空気質改善への道を議論する。

企画委員会 大気環境技術・評価部門委員会

#### プログラム

開始時間	終了時間	司会／挨拶／ 講演者／パネリ スト等	演題	氏名	勤務先名
		司会		田中 光太郎	茨城大学
13:30	13:35	挨拶	開会の挨拶	山田 裕之	独立行政法人自動車技術総合機構
13:35	14:10	講演者	Real Worldで考える自動車の大気環境Impact	岡山 紳一郎	日産自動車株式会社
14:10	14:45	講演者	PM2.5成分観測結果と大気シミュレーションによる発生源寄与解析	森川 多津子	一般財団法人日本自動車研究所
14:45	15:20	講演者	ライフサイクルアセスメント 自動車を中心として	磯部 眞弓	日産自動車株式会社
15:20	15:35	休憩			
15:35	16:10	講演者	PEMS(車載式排出ガス分析計)の紹介とその課題	相馬 誠一	一般財団法人日本自動車研究所
16:10	16:45	講演者	ガソリンの燃料性状がPMエミッションに及ぼす影響	相川 孔一郎	株式会社本田技術研究所
16:45	16:50	挨拶	閉会の挨拶	小川 英之	北海道大学大学院